

福生市個別施設計画(案)に関する意見

市民意見

実施期間 令和3年1月5日(火)～令和3年1月19日(火)

提出人数 1名 1件

提出方法 FAX 1名

	市民意見の概要	意見に対する市の考え方
1	<p>市民会館について</p> <p>計画には、市民会館を福生駅西口の施設に移転する案がある。ただ、移転先の「マルチスペース」(大)は、600～800人ほどの収容人数で、今の市民会館の1,000人以上の収容能力と比べると、かなり手狭になる印象がある。これまで発表会やイベントで使っていた方が不便を感じたり、場合によっては利用をとりやめる可能性もある。都立高校の演劇コンクールの会場としても、長く利用されており、このような発表の場を奪ってしまうことも心配される。このような市外の利用者や、学生の利用状況にも留意する必要があると思う。</p> <p>さらに、コロナ禍においては、会場の『密』が懸念されており、施設の縮小は、そうした流れにも逆行する。現在の市民会館は、舞台スペースも広く、客席・照明・音響などの点でも、すばらしい文化芸術施設だと思う。新しい施設はスポーツ施設も兼ねるので、文化施設としての設備が後退する懸念がある。</p> <p>また、今の市民会館は、福生市民だけでなく、近隣の市民からも重宝されており、利用の際には、福生市内で飲食をしたり、買い物に寄ったりするが、もし、移転により不便になり、利用者が減れば、そうした面で福生市の経済にも悪影響があると思う。また、移転によって牛浜駅近隣の商店が受けるダメージは間違いない。コロナ禍で、飲食店をはじめとした多くのお店が苦境に立たされる中、そうした点も心配である。</p> <p>今の市民会館は、大変すばらしい施設であり、市民と市職員が協力して長年作り上げた市の財産だと思う。ぜひ今の姿で存続することを強く希望する。</p>	<p>福生市民会館につきましては、建築後40年を超え老朽化が進んでいることや福生駅西口地区に整備を予定している公共施設(以下「西口地区公共施設」という。)に類似する機能の導入が予定されていることから、当該公共施設に移転、集約することを検討しています。</p> <p>御指摘のとおり、西口地区公共施設のマルチスペース機能は、収容能力等において市民会館の大ホールと同等にならない計画となっておりますが、今後の公共施設の維持・更新にかかる経費や人口減少予測を踏まえ、市が保有する施設の総量抑制、縮小及び同じスペースを様々な機能で共用する「重ね使い」のような工夫をしていくことが必要であると考えます。</p> <p>また、市民会館の西口地区公共施設への移転・集約について「文化施設としての後退する」懸念につきましては、様々な施設機能との複合化によって得られるメリット、利便性の高い立地というメリット、西口地区公共施設に計画している中小のマルチスペースの活用、現在の市民会館の利用状況及びもし移転した場合、市民会館の跡地をどう活用するのか等も踏まえ、多角的に検討していきます。</p> <p>牛浜駅近隣の商店への影響については、仮に市民会館機能が移転した後、跡地をどのように利用するのかが決まらなると見定めることができませんが、牛浜駅周辺は他の市の計画においても、公共、民間それぞれの機能を集積させていくとされており、これらを推進してまいりたいと考えます。</p>